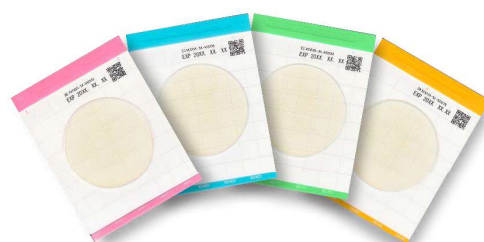


簡易フィルム培地の視認性、利便性



キッコーマンバイオケミファ株式会社
営業第2部 国内衛生検査グループ
2021年11月20日

Easy Plate™



1

簡易フィルム培地 : Easy Plate

kikkoman

Easy Plate AC	Easy Plate CC	Easy Plate EC	Easy Plate SA
一般生菌数測定用	大腸菌群数測定用	大腸菌・大腸菌群数測定用	黄色ブドウ球菌数測定用
			
培養温度：35±1℃			35または 37±1℃
AOAC-PTM認証			
食品衛生検査指針(微生物編2018)収載※		—	
未開封での使用期限／冷蔵(2-8℃)保管で製造日より			
18ヶ月			12ヶ月



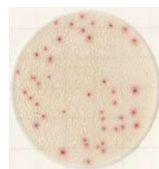
ラインナップを増やして行く予定です

※「Medi・Ca」として認証取得および収載

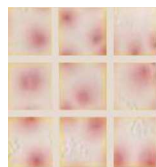
視認性が良い = コロニーをカウントしやすい

Bacillus属のコロニーが広がりにくい！

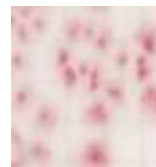
Easy Plate AC
一般生菌



Easy Plate



他社製品

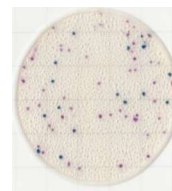


Easy Plate CC
大腸菌群

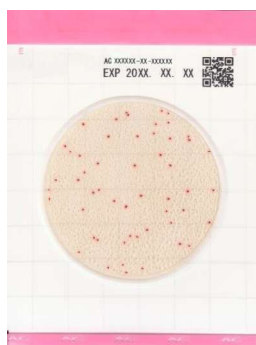


発色酵素基質法により色で識別
ガス発生確認不用

Easy Plate EC
大腸菌群・大腸菌



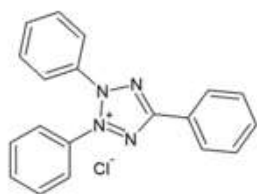
Easy Plate AC（一般生菌数測定用）



（検出原理）TTC 酸化還元指示薬

細胞の代謝活性の有無を調べるのに使用

細胞内のTTCを還元する酵素により赤色に発色



TTC

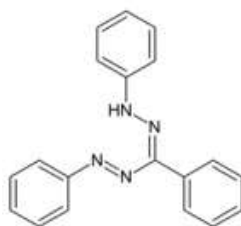
(2,3,5-Triphenyl Tetrazolium Chloride)

無色

脱水素酵素



還元



TPF

(1,3,5-triphenylformazan)

赤色

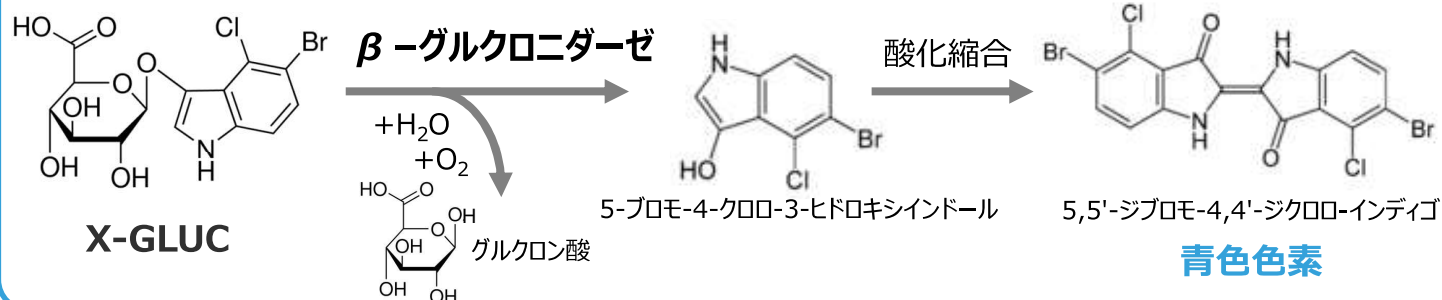
培養条件

培養温度：35℃±1℃

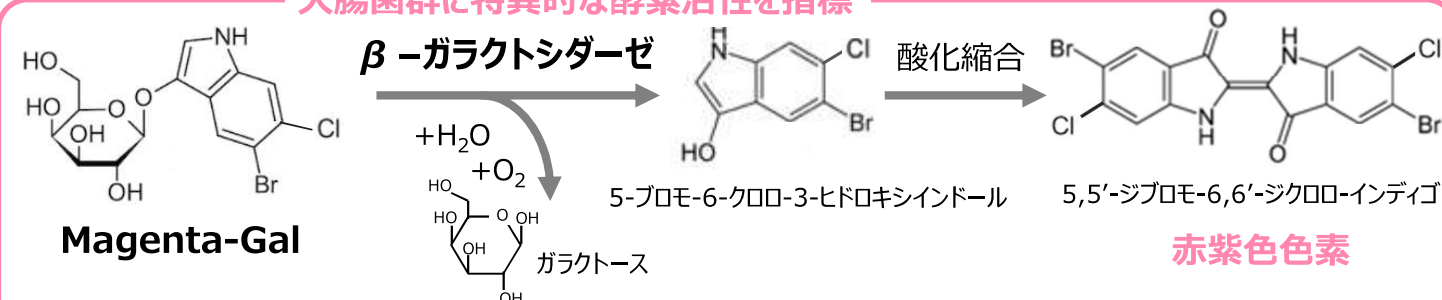
培養時間：48時間±2時間

検出原理:大腸菌・大腸菌群に特異的な酵素で酵素基質が分解されるとコロニーが発色

大腸菌に特異的な酵素活性を指標



大腸菌群に特異的な酵素活性を指標



特異的な酵素の有無で識別するため、気泡の有無の確認不用

23

コストダウンの例

①前提条件	一般生菌	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	備考		
サンプル数/日	15	10	5	1サンプルあたり3希釈系列×(N=2)		
使用枚数/日	90	60	30			
②資材コスト/ 日	Easy Plate			寒天培地（内作）		
	AC	CC	SA	標準寒天	デゾキシコレート	マンニト食塩
原材料費/枚	75	75	150	31	36	60
使用枚数/日	90	60	30	90	60	30
合計/日	15,750			6,750		
差額（円）	+9,000					

③作業時間/日	Easy Plate	寒天培地（内作）
培地調製・容器洗浄・オートクレーブ	0	60
検体調製	75	75
培地注加・混釈or プレーティング	54	234
計測時間＊1（分）	36	63
廃棄時間（分）	9	18
作業時間合計（分）	174	450
作業時間の差（分）	276	
作業コストの差（円）＊2	－11,500	

2,500円/日の削減、年間240日稼働で

600,000円/年のコストダウン

⇒ 例) 半日、2名分削減

*1: 菌数があまり出ない検体を想定
*2: 法定福利等も想定して
時給2,500円で計算